



Nagasaki Institute of Applied Science

2006
NOVEMBER

学報

No. 87

入試広報課 編集・発行



特集

工学部に
医療電子コース
開設予定

長崎総合科学大学

URL <http://nias.jp>



表紙の絵：「第1回長崎水辺の映像祭」携帯芸術部門で
ブロンズドラゴン賞を受賞した尾崎巧次君の作品

特集

平成19年4月
開設予定

工学部に 医療電子コース

社会的ニーズが高い 「臨床工学技士」を育成

今日我が国では、医療技術のめざましい進歩により、平均寿命や乳児死亡率等で見れば、世界最高水準にあります。しかし、それを支えるベッド当たりの医療従事者の数は十分とはいえず、特に質の高い医療を保証する医療機器はますます高度化し、より専門的な医学的知識と工学的知識を兼ね備えた人材が求められるようになり、臨床工学技士の国家資格として、高度な医療機器を扱う臨床工学技士が国家資格として制度化されましたが、その充足率はまだまだ十分でなく専門スタッフ配置のニーズが高

「臨床工学技士」とは

「人の呼吸・循環・代謝にかかわる生命維持管理装置の操作および保守点検を仕事とする医療職種」で、手術室や集中治療室などの生命維持の最前線で「人工心肺装置」、「血液浄化装置」や「人工呼吸器」などの最先端の医療機器の操作にあたる専門家をいいます。人の命を預かる重要な仕事であるため国家資格になっています。

1987年に「臨床工学技士」の国家資格制度ができて以来、現在までに約2万人の「臨床工学技士」が誕生しています。しかし我が国の大病院における「臨床工学技士」の充足率はまだ6割程度と低く、しかも地域格差が著しく、長崎県では2割程度といわれています。

「臨床工学技士」がいない中小病院では看護師が「臨床工学技士」の業務を行わなければならないので、「臨床工学技士」の早期充足が望まれています。

本学の「医療電子コース」で所定の単位を取得した人は、毎年3月に行われる「臨床工学技士」国家試験の受験資格を得ることができます。



大学の理念を推進
71年、本学の創立30周年を記念して建てられた体育館の玄関には、「人類愛の存するところ技術への愛もまた存する」というヒポクラテス（古代ギリシアの先哲、医学の祖・医師の父といわれる）の

平成19年4月より名称変更予定

まっています。こうした医療現場で求められる有為な人材を育成するため、本工学部は確たる理念のもとに教育・研究を推進し、「臨床工学技士」国家試験の受験資格を得ることを目指した「医療電子コース」を工学部 電気電子工学科に新たに設置します。

言葉が掲げられています。この言葉は、05年に本学の「大学の理念」として再確認されたところですが、現代の高度に発達した「電子工学」を医療に応用し、これによってかけがえのない人間の命を救うことに寄与することは、この意味で本学の理念に一致し、また、常に新しい時代と社会の要請に「電子工学」という当学科の目標にも合致するところがあります。本学の「電気電子工学科」に新設される「医療電子コース」の特徴は、長い歴史を有する「電気工学」と「電子工学」の教育・研究システムを基盤として、深い工学的知識と医学的素養を併せ持った医療技術者を養成することにあります。本学の「医療電子コース」に入学した学生は、新しく開講される「医療電子」の専門科目とともに、「電気工学」や「電子工学」の専門科目の履修が義務づけられます。これによって、電気・医療機器メーカー等への就職も可能になります。

カリキュラム

< 医療電子専門科目 >

- ・人の構造及び機能 ・解剖学 ・公衆衛生学 ・計測工学Ⅰ、Ⅱ ・臨床生理学 ・看護学 ・医学概論
- ・基礎医学及び同実習 ・病理学概論 ・薬理学 ・医用工学概論 ・生体物性工学 ・医療機械工学 ・放射線工学概論
- ・臨床医学総論Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・生化学 ・関係法規 ・医用物性工学 ・医用材料工学 ・医用機器概論
- ・医用機器安全管理学 ・免疫学 ・生体計測装置学 ・医用治療機器学 ・呼吸療法装置 ・体外循環装置
- ・血液浄化療法装置 ・医用機器安全管理学実習 ・医療情報 ・生体計測装置学実習 ・医用治療機器学実習
- ・呼吸療法装置実習 ・医用工学特別演習 ・体外循環装置実習 ・臨床医学特別演習 ・システム工学特別演習
- ・血液浄化療法装置実習 ・臨床実習

(但し「システム工学特別演習」、「臨床医学特別演習」および「臨床実習」の単位取得をもって「卒業研究」の単位に換えることができる)

< 学科共通科目 >

- ・総合科学フォーラム ・プログラミング基礎 ・プログラミングⅠ ・電気工学基礎Ⅰ ・電気回路Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ
- ・電気工学基礎Ⅱ ・電磁気学Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ ・電気数学基礎 ・電気数学Ⅰ、Ⅱ ・電子工学基礎 ・アナログ回路Ⅰ
- ・デジタル回路 ・プログラミング言語 ・電磁波工学 ・電気・電子計測 ・制御理論 ・電気・電子材料
- ・電波法規 ・インターシップ ・電子デバイス基礎 ・コンピュータシステムⅠ ・科学技術英語
- ・電気電子基礎実験 ・電気電子工学実験 ・卒業研究

< 電気電子専門科目 >

- ・電気機器Ⅰ ・電気機器Ⅱ ・エネルギー変換工学Ⅰ、Ⅱ ・パワーエレクトロニクスⅠ、Ⅱ ・送配電工学Ⅰ、Ⅱ
- ・高電圧工学 ・電気法規 ・電気施設管理 ・電気製図 ・電気工学実験 ・電子物理 ・半導体デバイスⅠ、Ⅱ
- ・コンピュータシステムⅡ ・情報通信工学Ⅰ、Ⅱ ・無線工学 ・電子工学特論 ・電子工学実験 ・情報工学
- ・情報工学演習 ・システム工学

< 総合基礎科目 >

- 一般教育系科目 保健体育系科目 外国語系科目 基礎科目

「医療電子コース」開設に期待する



長崎県臨床工学技士会

会長 有吉正一



長崎総合科学大学工学部 電気電子工学科に、新たに「医療電子コース」が開設されることを、心からお慶び申し上げますとともに私の期待を述べさせていただきます。

1987年に「臨床工学技士法」が施行され、今年で19年になります。現在約2万人の「臨床工学技士」がいますが、その充足率は全国平均で約6割、地方によって差があって、長崎県では約2割といわれています。

長崎県に「臨床工学技士」が少ない理由の一つは「臨床工学技士」の養成機関がないからであり、その意味からこの度、長崎総合科学大学に「医療電子コース」が開設され、そこで所定の単位を修得した学生に「臨床工学技士」の国家試験受験資格が与えられることは、本県の医療機関にとっても、患者さんにとっても誠に嬉しいことだと思います。

医療技術は電子工学の発展に支えられてますます進歩し、大変高度なものとなりました。そのおかげで我が国が世界一の長寿国になれたことは嬉しい限りですが、高度になったがゆえに「臨床工学技士」の不足によって患者さんが十分な医療サービスを受けられないとすると、それはゆゆしき問題といわざるをえません。

医療技術が進歩すればするほど、私ども医療機器を取り扱う「臨床工学技士」には医学的知識は勿論、より高度な工学的知識が要求されるようになってきています。この度、「医療電子コース」が開設されることは大変大きな意味があり、豊かな感性と工学的知識を備えた「臨床工学技士」が養成されることを心から期待いたします。

平成19年4月より名称変更予定

医療電子コース開設記念シンポジウム ～ 医・工連携に向けて～

日時

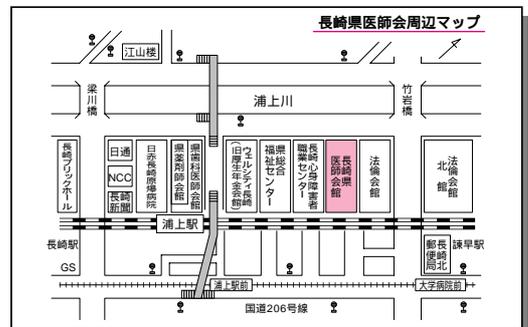
11月25日(土)

開場 / 14:30 開演 / 15:00
終演 / 18:00

会場

長崎県医師会館

〒852-8532 長崎市茂里町3-27
TEL 095-844-1111



プログラム

講演

- 吉野 勝美 「最近の医療と電子工学の接点」
- 小柳 光正 「脳のはたらきと医療電子技術」
- 犬伏 俊郎 「MR画像法の進歩」
- 谷山紘太郎 「新技術創出と医工連携」

参加無料



よしの かつみ
吉野 勝美氏
工学部電気電子情報工学科教授
大阪大学名誉教授
工学博士



こやなぎ みつまさ
小柳 光正氏
東北大学大学院工学研究科バイオロボティクス専攻教授
本学客員教授
工学博士



いぬぶし としろう
犬伏 俊郎氏
滋賀医科大学MR医学総合研究センター教授
日本磁気共鳴医学会会長
工学博士



たにやまひろたろう
谷山紘太郎氏
長崎大学理事、(株)長崎TLO代表取締役社長
元長崎大学大学院歯薬学総合研究科長
医学博士

パネルディスカッション

「医療技術・機器の発展とCE・MEの育成を考える」

お問合せ

長崎総合科学大学入試広報課広報係
〒851-0193 長崎県長崎市網場町536
TEL 095-838-5131
FAX 095-839-3113
E-mail pr@office.nias.ac.jp

上誌講義

公開講演会を開催中。
既に開催した第一回講演会の一端を紹介
します。

第1回

7 / 15(土)

建築

第二部 基調講演

演題 「構造をデザインする」

講師 川口 衛氏



川口 衛氏

デザインする

デザインするというのは広い意味を持っていますが、人間にとって意義のあるものを創造していくと言つことでは共通しています。

それで私が構造をどういう風にデザインしてきたか、例をいくつかあげて、構造に対する私のものの考え方みたいなものを知っていたら有難いと思いません。

「原爆の子の像」の台座

広島に「千羽鶴の塔」「原爆少女の塔」とも言われる像があります。その少女の像は彫刻家の菊池一雄さんが作り、それを支える台は私の最初の構造設計です。

川口氏の略歴

| | |
|-----|---------------------------------|
| 32年 | 福井県福井市生まれ |
| 55年 | 福井大学工学部建築学科卒業 |
| 55年 | 東京大学大学院、建築構造学専攻 |
| 66年 | 工学博士(東京大学) |
| 60年 | 法政大学工学部建築学科に勤務、講師、助教授を経て、現在名誉教授 |
| 65年 | 川口衛構造設計事務所を主宰 |

とにかく長持ちするものでないといけな
いと考へ、二つの工夫をしました。非常
に細い部分までコンクリートが回るよう
に三ツ割にし、工場で各部を造ることで
硬いコンクリートに仕上がる。もう一つ
は少し驚沢だったので、ステンレス
の塊のくつをはかせました。小火が2、
3回ありますが、いまだに健全な格好で
残っています。

国立代々木競技場

丹下健三先生の設計で代々木にある二
つの競技場です。覆っている屋根の構造
原理がテンション構造。ちょうど吊り橋
のような構造になっているが、吊っている
概念がそれほど強くない。あたかも日
本の昔からあるお寺の大屋根のような、
そういう感覚に仕上げている。これは西
洋の合理性、合理主義からいうと異色な
存在になっています。したがって、いま
だに日本を訪れる外国の建築家は必ず
代々木を見学に来る。そういうデザイン

的な魅力を持つている。世界で初めて、
大々的に構造として鉄鋼をつかった例で
もあり、また、振動をコントロールする
オイルダンパーもつけています。

巨大鯉のぼり

鯉のぼりは日本人にとっては馴染みの
ものですが、この鯉のぼりを作っている
町の一つに埼玉県の加須という町があり
ます。そこは武州鯉の木綿の生産地です
が、化繊に追われ、だんだん町が寂れて
きたので、青年会議所が一念発起して町
おこしにジャンボ鯉のぼりを作ろうと
思ったのです。住民参加で作ったが、吊
り上げたとたんに壊れた。どうしても泳
がせたいと流体力学や応用数学の先生を
経て最終的に私の所へ依頼がきた。まず
いつたいこのでかい鯉が泳ぐのか。泳ぐ
としたらどれぐらいの風速かという問題
次元解析、風洞実験、壊れた鯉の一部を
とってきて布のテストをしました。布そ
のものは十分な耐力があるが、縫い目は
素人が縫ったので全部力不足であること
がわかり、工業用ミシンで縫い直した。
口輪を取り付け、クレーンで静かに持ち
上げ、口から空気が入って離陸。空を泳
ぐ姿は実に壮大でした。

今年の5月、サッカーのW杯のプレイ
ベントとしてドイツのカイザースラウテ
ルンでもこの鯉のぼりを泳がせました。



原爆の子の像



代々木競技場



鯉のぼり

その他に紹介された構造物

- 松本の家(個人の自宅)
- ゆかり文化幼稚園
- EXPO'70お祭り広場
- サン・ジョルジススポーツ
- パレス
- なみはやドーム
- 栃木県グリーンスタジアム
- イナコスの橋
- 鬼石町多目的ホール
- 始良町体育館

第二部 パネルディスカッション

演題 「建築・構造・技術」

パネリスト

川口 衛氏

安達 守弘(工学部建築学科教授)

安井 信行(工学部建築学科助教授)

コーディネーター

林 一馬(本学 学長)



学長 林 一馬

なぜ構造の分野に

川口 私は父親の死去により18才で家業
のおふる屋を継ぎました。家業をしなが
ら地元の福井大学へ通い、そこで恩師の
吉田宏彦先生と出会う。非常に才能豊か
な先生にめぐり合って、建築や構造のこ
とが好きになった。

安達 単純な理由です。私は絵が書けな
くて、設計製図の点が最低でした。間
違ってモデザイナーにはなれないと自覚
していました。それが潜在的な理由です
かね。消極的受身の形です。

安井 大学2年生の時、恩師の井上一朗
先生に出会う。構造力学の演習の際に例
題が理解できて面白くなり、4年生に
なつて先生の研究室に入ったこと。



安達 守弘 教授

講演会の様子は Web から視聴できます。
<http://www.nias.ac.jp/public/index.html>



会場の様子

技術と耐震偽装の問題など

安井 TVなどから「性善説」という言葉が聞こえてきたが、確認があるということとは本来、性善説ではなかったのではないか。第三者機関によりチェックを行うという方向性は良いと思う。

安達 まったく驚きました。私は、構造計画の段階では、計算尺ひとつで、ひたすら手計算してきました。現在の難しいソフトで計算した確認図書でも、計算尺で簡単にチェックできるはず。倫理とは個人の心の問題。『優秀な構造技術者の前に社会的常識人であれ』と言いたい。川口 前向きで効果的な施策がないか。設計者自らが能力を開発し自己規制をする。国は規制ではなく、良い仕事を奨励する工夫を行い、構造設計家の質を高めていくことが大事だと考える。



安井 信行
助教授

第2回

10/23
(月)

17:30 ~ 19:30

情報

基調講演
 演題「Heart2006 長崎の未来」
 講師 伊東 順二氏
 (長崎県美術館長・富山大学教授)
 パネルディスカッション
 演題「長崎発・情報維新」
 報告 池末 純一(情報学部知能情報学専攻)
 パネリスト
 伊東 順二氏
 岡部 まり(タレント・エッセイスト)
 池末 純一
 コーディネーター
 瀧山 龍三(情報学部長)

第3回

11/10
(金)

13:30 ~ 17:00

経営

基調講演
 演題「興せ！フィールド・イノベーション」
 講師 伊東 千秋氏
 (企業を、社会を強くする)
 パネルディスカッション
 演題「EICT技術の活用」
 報告・コーディネーター
 平坂 敏夫(情報学部経営情報学専攻)
 パネリスト
 伊東 千秋氏ほか

第4回

11/25
(土)

14:00 ~ 17:00

環境

基調講演
 演題「ゴミ問題とライフスタイル」
 講師 高月 絃氏
 (石川県立大学教授・環境漫画家)
 パネルディスカッション
 演題「環境・ごみ・ライフ」
 パネリスト
 高月 絃氏
 ブライアン・パークガフニ
 (人間環境学部環境文化学専攻)
 石橋 康弘(人間環境学部環境文化学専攻)
 コーディネーター
 横山 正人(人間環境学部長)

第5回

12/ 2
(土)

13:30 ~ 17:00

エネルギー

基調講演
 演題「21世紀を担う自然エネルギー」
 講師 牛山 泉氏
 (足利工業大学副学長・日本風力エネルギー協会
 前会長・日本太陽エネルギー学会会長)
 演題「バイオマスが地球を救う」
 講師 坂井 正康
 (人間環境学部環境文化学専攻)
 パネルディスカッション
 演題「緑の21世紀をめざして」
 パネリスト
 牛山 泉氏 柴田 昌明氏
 高塚 汎氏 坂井 正康
 村上 信明
 コーディネーター
 藤川 卓爾(工学部長)

会場

長崎県美術館ホール

第6回

12/ 9
(土)

14:00 ~ 17:00

海・船

基調講演
 演題「豪華客船 作る楽しみ。乗る楽しみ」
 講師 福島 昭二氏
 (日本船舶海洋工学会副会長・三菱重工業(株)長崎
 造船所特別顧問)
 パネルディスカッション
 演題「21世紀の海を拓く船を作る」
 報告 池上 国広(工学部船舶工学専攻)
 中尾 浩一(工学部船舶工学専攻)
 コーディネーター
 榎益(常務理事・工学部船舶工学専攻)

21世紀科学・技術・文化の最前線
 公開講座

| 開講月日 | テーマ | 講師 | 開講月日 | テーマ | 講師 |
|----------|------------------------|-------------------------------|-----------|---------------|-------------------------------|
| 1 9月28日 | エネルギーと環境 | 藤川 卓爾 (工学部長・機械工学科 教授) | 8 11月16日 | 夢開くソーラーボート | 林田 滋 (工学部船舶工学科教 授) |
| 2 10月5日 | 地球温暖化とその対策 | 村上 信明 (工学部機械工学科教 授) | 9 11月30日 | 自律分散システムとロボット | 安田 元一 (情報学部知能情報学 科教授) |
| 3 10月12日 | 化石燃料から新エネルギーへ | 坂井 正康 (人間環境学部環境文化 学専攻) | 10 12月7日 | 数による抽象的CG | 金子 照之 (人間環境学部環境文化 学専攻) |
| 4 10月19日 | 原子の世界から ダイヤモンド気相合成へ | 興野 公夫 (工学部電気電子情報工 学科教授) | 11 12月14日 | 町屋再生の都市づくり | 村田 明久 (工学部建築学専攻) |
| 5 10月26日 | 燃料電池について | 興村 典男 (工学部電気電子情報工 学科教授) | 12 1月11日 | 坂のまち再生への取り組み | 鮫島 和夫 (工学部建築学専攻) |
| 6 11月2日 | ナノカーボンの応用技術 | 藤井 光広 (工学部基礎教育セン ター教授) | 13 1月18日 | 情報技術と経営革新 | 平坂 敏夫 (情報学部経営情報学 科教授) |
| 7 11月9日 | 海洋開発の現状と将来展望 | 池上 国広 (工学部船舶工学科教 授) | 14 1月25日 | 地域福祉と情報環境 | 横山 正人 (人間環境学部長環境文 化学専攻) |

毎週木曜日 18:00 ~ 19:30 / 会場: 出島交流会館 2F (県立美術館そば)

トピックス

TOPICS

TOPICS 1

父母懇談会終える

6月10日の長崎会場を皮切りに最終10月7日の沖縄会場まで、11会場に延べ451人の保護者と一部学生が参加して父母懇談会が開催されました。

学科の教員が会場へ出向き、学生の生活状況や履修、成績、就職活動状況など、資料を基に保護者と面談を行いました。

本学の父母懇談会は、79年に第1回目を開催して以来、27年続けてきました。学科の教員と直接面談でき、また、保護者間の情報交換やネットワークづくりが



でき、有効に活用されてきています。

06年度父母懇談会の開催地

長崎(二回)、佐世保、佐賀、福岡、宮崎、鹿児島、沖縄、神戸、松山、山口

TOPICS 2

奥村教授の研究課題が採択



奥村典男教授

8月23日、独立行政法人科学技術振興機構(JST)の地域イノベーション創出総合支援事業として、シーズ発掘試験における平成18年度採択課題が選定され、本学工学部電気電子情報工学科 奥村典男教授の研究課題「固体高分子型燃料電池の触媒使用量大幅低減に関する研究」が採択されました。

この事業は、各府省・大学・地方自治体・独立行政法人・TLO等に配置されている各種コーディネータ等が発掘した

大学などの研究シーズを育成するとともに、実用化に向けたコーディネート活動を支援することを目的とした試験研究制度で、全国から5621件の応募があり、その中より応募課題の新規性、獨創性、実用化の可能性および研究計画の妥当性について技術的評価を行い、1008件が採択された。

長崎県からは本学の他、長崎大学、佐世保高専などの研究機関で7件が採択されている。

TOPICS 3

尾崎君「携帯芸術部門」入賞



尾崎巧次君

「第1回長崎水辺の映像祭」において本学の尾崎巧次君(工学部機械工学科情報制御工学コース4年)の作品(表紙掲載)が、携帯芸術部門で見事「ブロンズドラゴン賞」を受賞した。「環境芸術」「携帯芸術」の二部門があり、今回、両部門で141点の応募があった。



TOPICS 4

オープンキャンパス開催

(第1回)

7月30日(日)、今年度第1回目を開催。学長の歓迎あいさつ、学部ごとの模擬講義が行われ、昼食は学食体験でトルコライス。その後、CAD体験やGIF Eアニメーション作成、ミニ講義など各学科が主催する体験学習、見学会が行われた。また、NHK大学ロボコンの出場ロボット見学、大型ヨットや卒業生製作ポートでクルージングを楽しんだ。

日頃お世話になっている地域の方々や

TOPICS 5

大学への訪問者

訪問者 多久高校(佐賀県)



6月22日(木)、佐賀県立多久高校の1年生80名と引率教員4名が「進路啓発事業の一環」で本学を訪問した。藤川工学部長による「高校までとの違い」「学生生活」「大学の魅力」についての説明や、多久高校出身の渡部君(大学院電子情報学専攻2年)から本学の紹介を聞いた。その後、3グループに分かれて「バイオマス実験装置」「パーチャルリアリティ体験」「マルチメディアデザイン」の研究について見学・体験した。

訪問者 島原翔南高校(長崎県)

7月10日(月)、長崎県立島原翔南高校の1年生43名と引率教員2名が本学の学習設備を見学した。これは、



大学における学習内容を生徒に理解させ、志望進路決定の一助とすることが目的。瀧山龍三情報学部長の歓迎挨拶、大学紹介ビデオの上映やQ&A方式の質疑応答を実施。3グループに分かれて「NHK大学ロボコン出場機」「マイクローカー」を見学・体験した。

出版紹介 だまされる脳

北島律之
情報学部知能情報学科助教授



講談社より『だまされる脳 - パーチャルリアリティと知覚心理学入門』出版。パーチャルリアリティ技術の発達と、知覚心理学の研究によって、脳はどのように情報を処理し、どのように「現実」を認識しているかがわかってきた。本書は知覚心理学とパーチャルリアリティの最新の入門書となっている。

船舶一問一答

これであなかも「船」博士

慎 燦益
工学部船舶工学科教授



(株)海事プレス社より『船舶一問一答 これであなかも「船」博士』出版。慎教授をはじめ、造船教育に携わる全国の大学教員によって執筆されている。複雑で高度な技術が必要な知識を、初心者にもわかりやすいようにQ&A方式で解説している。本書では造船系の教育コースがある大学として、本学、横浜国立大学、東海大学、大阪大学、大阪府立大学、広島大学、九州大学を紹介している。

TOPICS 6

嶺南理工大学の学生 日本語短期研修

7月25日(火)、韓国・嶺南理工大学の日本語短期研修の修了式が行われました。研修は6月28日の開校式から約1ヶ月、日本語の研修や、日本人との交流、施設見学など行いました。

修了式は研修生を代表して李圭尚さんが藤川工学部長より修了証書を授与され、工学部長挨拶の後、研修生一人ひとり勉強した日本語で感想を発表しました。「1ヶ月間、お世話いただいた皆さんありがとうございました。日本語の勉強を続けたいです。」「日本での楽しい時間でした。」「できれば、また長崎に来たいです。」「開校式の際にはほとんど喋ることができ



なかった日本語を、一言、一言確認しながら丁寧話していました。指導に当たられた先生方からもはなむけの言葉が送られました。

TOPICS 7

「勉学奨励基金」 奨学金の授与

7月4日(火)、「勉学奨励基金」の奨学金授与式が行われました。「2年生以上で学力・人格共に優れ、学業成績が規定に定める条件を満たした者」へ奨学金

奨励・援助するための奨学金。今回9名の学生が選ばれ、林学長より受給者一人一人に奨学金が手渡されました。



(第2回)

今年度第2回目を8月26日(土)に開催。今回もたくさん的高校生、保護者が参加し、大盛況でした。学長歓迎挨拶、学部・学科別の展示場の見学、学食体験、情報学部の平坂敏夫教授(元花王(株)取締役)による模擬講義「情報の力をつかっ」、学部学科の自由見学等を実施しました。
(学園祭同時開催)



本学OBの高校教員をオープンキャンパスにお招きし、本学をさらに理解していただくための機会としました。大学の紹介、人間環境学部のブライアン・パークガフ二教授による模擬講義「長崎さるく博に想う」、交流会の後、各学科の実験・実習など見学しました。

訪問者 韓国・ウルサン大学



8月22日(木)、韓国・ウルサン大学海洋学部の一行が本学船舶工学科の実習・実験設備等を見学。訪問したのは学生25名と教員2名、事務スタッフ2名、通訳1名の計30名。日韓の民間交流と親善を目的に昨年から実施しているもので、本学のほか、九州大学や三菱重工長崎造船所を訪問。

訪問者 諫早東高校の保護者

10月1日(日)、長崎県立諫早東高等学校の保護者・教員合わせて20名が本学を訪れ、大学施設の見学等を行った。保護者に対する生徒の学校選択・進路決定指導のための学校訪問研修で、横山人間環境学部長歓迎挨拶の後、本学の紹介と説明を実施。施設見学として、新技術創成研究所のバイオマス実験装置とLED植物育成実験を見学した。

TOPICS 8

朝長教諭が毎日書道展で毎日賞を受賞



朝長敬一郎教諭

高校の朝長敬一郎教諭（日本史）が第58回毎日書道展において、近代詩文書部門で「毎日賞」を受賞した。

毎日書道展は国内最大の書道展。出品総数3万4519点の中から厳正な審査を通過して選ばれた。毎日賞は公募の部門では最高の賞で、長崎県内では朝長教諭と他部門で2人が受賞。作品は11月28日～12月3日まで、福岡市美術館で展示される。



TOPICS 9

笹田教諭がマケドニアに招待され絵画制作



笹田末人教諭

高校の笹田末人教諭（美術）がマケドニア共和国のアートコロニーから招待され、現地で絵画製作に取組んだ。国内外のアーティストが一堂に集まり、共に生活しながら作品を制作し、作品を現地に残すというもの。

昨年、マケドニアで展覧会が開催され、そこに出席した作品を見たマケドニア国立現代美術館のキュレーターの方から招待

TOPICS 10

スポーツ振興賞を授与

本学ではクラブ活動で優秀な成績を修めた学生に対し、大学及び後援会がその健闘をたたえ、表彰を行っています。授賞したクラブ・内容を紹介します。

ヨット部

6月4日、西彼長与町白津ヨットハーバー沖の大村湾で開催された「長与町長杯争奪第6回大村湾オーブ



水泳部

6月24日、25日、第66回九州学生選手権水泳競技大会で、吉田司君（情報学部経営情報学部2年生）が男子2部の1000mと2000m平泳ぎで



優勝。中村秀徳君（工学部電気電子情報工学科2年生）も、2000m平泳ぎで8位入賞を果たした。

陸上部

7月1日、第56回九州地区大学体育大会陸上競技の男子走り幅跳びで岸良広志君（工学部建築学科2年）は自己新（7m11cm）をだして3位入賞した。



を受けて今回の参加となった。マケドニアはバルカン半島南東部のギリシア・ブルガリア・ユーゴスラビアにまたがる自然豊かな地域。ここで終日、制作に取組んだ。



TOPICS 11

附属高校 夏を沸かせたクラブ

ヨット部

6月2～4日開催の長崎県高総体で3年連続・27度目の優勝を果たしたヨット部男子。6月16～18日開催の九州大会



国体7位入賞の古賀君（左）、中尾君（2006.10.11長崎新聞掲載写真）

（沖縄宜野湾）では、ソロで8位、FJ級デュエットで4位と健闘。8月11～15日開催の全国大会（和歌山県）で

は、古賀、中野、武次、篠崎の4名で挑み、ソロ29位、デュエットでは7レース目で7位に入る健闘をしたものの累計得点200点で38位で終えた。

野球部

第88回全国高校野球選手権長崎大会が7月9日佐世保野球場で行われ、1回戦吉岐高校と対戦。延長15回の熱戦決着がつかず翌日再試合となったが今度は3回表2対1で勝っていたものの降雨ノーゲームとなった。翌11日、3連投のエース徳永君を5回に吉岐打線がとらえ2対7で敗れ、3日間の熱戦に決着がついた。

附属高等学校

オープンスクールを開催

8月5日(土)、長崎市内の中学生や保護者が集い、今年第1回目のオープンスクールが開催されました。

3号館大講義室で、時津校長より歓迎のあいさつ、学校紹介ビデオの放映の後、「エコライト(電子工作)づくり」、「生物の観察(顕微鏡写真作成)」、「鏡づくり・分光器づくり」、「オリジナルカレンダーづくり」のものづくり体験や、ヨットによる網場湾のクルージング体験などに別れ、それぞれのプログラムを体験しました。

また、運動クラブの見学も行われ、実際の活動状況を体感しました。

今回のものづくり体験は、大学と連携して、大学の学生や教員が指導等を担当し、高大連携の一端を紹介し、体験してもらいました。



第25回体育祭を開催



9月9日(土)、第25回体育祭が開催された。心配された天候も回復し、絶好の体育祭日和となった当日は、1年から3年までの各組が赤、青、白、黄の各グループに分かれて、競技に応援に最後まで全力を尽くした。

生徒と先生が一体となって取り組んだ体育祭。高校生活の思い出に新たな1ページを刻んだ素晴らしいものとなった。

「高校生ダンス甲子園」 全国2位の実力を披露

体育祭において、3年の山内朋也君が、「高校生ダンス甲子園」全国2位の実力を披露した。

山内君は、8月に放送された日本テレビ系列「24時間テレビ愛は地球を救う」のなかで開催された「高校生制服対抗ダンス甲子園」に九州代表として出場。見事全国2位となった長崎県のダンスチーム「Cool“D”Crew」のメンバーのひとり。

この日は、3年生の思い出の舞台となる仮装行列において、山内君の指導のもと、クラス全員でダンスを披露。途中、山内君もソロでダンスを披露し観客を魅了した。



大 学 院

【修士課程】

| 専攻 | 系 列 | 人員 |
|-------|--------------------------------------|----|
| 生産技術学 | 材料工学 構造工学 海洋流体工学 機械流体工学 | 10 |
| 環境計画学 | 環境デザイン学 居住環境計画学 環境共生システム工学 環境社会学 | 10 |
| 電子情報学 | 電子デバイス学 オプトエレクトロニクス 計測制御学 情報システム学 | 10 |

二次募集

| | |
|------|-------------------|
| 出願期間 | 2月14日(水)～2月21日(水) |
| 学力試験 | 3月5日(月) |
| 面接 | 3月6日(火) |
| 試験場 | 本学 |
| 受験料 | 30,000円 |
| 合格発表 | 3月12日(月) |

試験内容

| | |
|-------|---|
| 数 学 | 線形代数学および解析学 |
| 外国語 | 英語 |
| 専 門 | ①または②より1科目 |
| | 生産技術学 ①材料力学 ②流体力学 |
| | 環境計画学 ①本学設置の学科名称の科目(建築学、機械工学、経営工学、環境文化学) ②環境計画学基礎 |
| 電子情報学 | ①電子工学 ②情報工学 |
| 面接 | 専攻別実施 |
| 備考 | 1. 携行品・筆記具・定規・コンパス・電卓・英語辞書の持込を認める 2. 環境計画学専攻の学力試験は、数学・英語・専門科目のうちから志願者が事前に選択した1科目のみ実施 |

【博士課程】

| 専攻 | 人員 |
|---|----|
| 総合システム工学専攻 生産技術コース 情報技術コース 環境技術コース | 3 |

二次募集

| | |
|------|-------------------|
| 出願期間 | 2月14日(水)～2月21日(水) |
| 面接 | 3月6日(火) |
| 試験場 | 本学 |
| 受験料 | 30,000円 |
| 合格発表 | 3月12日(月) |

【お問合せ先・出願先】

| 学 部 | 大 学 院 | 附属高等学校 |
|---|--|---|
| 長崎総合科学大学 入試広報課 〒851 0193 長崎市網場町536 ☎ 0120 801 253 F A X 095 839 3113 | 長崎総合科学大学 大学院事務室 〒851 0193 長崎市網場町536 T E L 095 838 3118 F A X 095 837 0491 | 長崎総合科学大学 附属高等学校 〒851 0193 長崎市網場町536 T E L 095 838 2413 , または2414 F A X 095 837 1902 |

附属高等学校

普通科・男女共学 入学定員 150名

特待生、優待生の資格については専願や併願による志望がありますので、詳しくはお問合せください。

| | | |
|------|----------|---|
| 推薦入試 | 期 間 | 1月11日(木)～1月16日(火) |
| | 出 願 条 件 | ①平成19年3月卒業見込みの者 ②基準を満たし学校長の推薦を受けた者 ③本校のみ出願者 |
| | 受 験 料 | 12,000円 |
| 試 験 | 試 験 日 | 1月18日(木) |
| | 科 目 | 2科目(国語・英語・数学より選択。 英語のリスニングは含まない) |
| | 会 場 | 面接 本校 |
| 合格発表 | 1月22日(月) | |

| | | |
|------|---------|----------------------------|
| 一次入試 | 期 間 | 1月11日(木)～1月24日(水) |
| | 出 願 条 件 | 平成19年3月卒業見込みの者 および卒業した者 |
| | 受 験 料 | 12,000円 |
| 試 験 | 試 験 日 | 1月31日(水) |
| | 科 目 | 3科目(国語・英語・数学・英語のリスニング含む) |
| | 会 場 | 面接 本校 |
| 合格発表 | 2月5日(月) | |

| | | |
|------|----------|--------------------------------|
| 二次入試 | 期 間 | 3月12日(月)～3月16日(金) |
| | 出 願 条 件 | 平成19年3月卒業見込みの者 および卒業した者 |
| | 受 験 料 | 12,000円 |
| 試 験 | 試 験 日 | 3月17日(土) |
| | 科 目 | 3科目(国語・英語・数学 英語のリスニングは含まない) |
| | 会 場 | 面接 本校 |
| 合格発表 | 3月17日(土) | |

特待生制度・優待生制度

特待生...入学金(120,000円) 授業料(月額26,000円) 教育充実費(5,000円)を全額免除する。

優待生...授業料(月額26,000円)を公立高校授業料と同額の月額9,600円とする。(月額16,400円免除)

入学後、本制度の趣旨に著しく反した場合は資格を取り消すことがある。

2007年度 学生・生徒募集要項

学部〔工学部・情報学部・人間環境学部〕

| 学部 | 学科〔コース〕 | 定員 |
|--------|----------------------------|----|
| 工学部 | 船舶工学科〔造船技術コース、海洋フロンティアコース〕 | 35 |
| | 機械工学科 | 60 |
| | 電気電子工学科〔電気電子工学科、医療電子コース〕 | 60 |
| | 建築学科〔建築学科、住居学コース(女子のみ)〕 | 75 |
| 情報学部 | 知能情報学科 | 60 |
| | 経営情報学科 | 60 |
| 人間環境学部 | 環境文化学科 | 75 |

| | 推薦入試 | | | AO入試 | |
|------|--|-------------------------------|-----------------------------|---------------------------|---------------------------------|
| | 前期 | | 後期 | 前期 | 後期 |
| | 一般推薦 | 専門高校・ 総合学科推薦 | 一般推薦 | | |
| 出願期間 | 11月1日(水) ～11月14日(火) | | 11月24日(金) ～12月6日(水) | 9月1日(金) ～11月30日(木) | 12月1日(金) ～3月16日(金) |
| 試験日 | 11月18日(土) 長崎のみ 11月19日(日) 長崎を含む全会場 | | 12月10日(日) | 随時 | |
| 科目等 | 面接(個別) | | 面接(個別) | 面接(個別) | |
| | 小論文 (出願時提出: 600～800字) | 自己推薦書 (出願時提出: 600～800字) | 小論文 (出願時提出: 600～800字) | 志望理由書 (出願時提出:600～800字) | |
| 会場 | 長崎、佐世保、那覇、鹿児島、宮崎、大分、熊本、佐賀、福岡、松山、広島、岡山、大阪、名古屋、東京、札幌 | | 長崎、那覇、福岡、大阪 | 本学 | |
| 受験料 | 30,000円 | | | 30,000円 | |
| 合格発表 | 11月27日(月) | | 12月15日(金) | 11月27日(月) 12月15日(金) | 2月9日(金) 3月13日(火) 3月23日(金) |

| | 一般入試 | | センター試験利用入試 | |
|------|--|-----------------------------------|--|----------------------|
| | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 |
| 出願期間 | 1月9日(火) ～2月2日(金) | 2月9日(金) ～3月6日(火) | 1月9日(火) ～2月9日(金) | 3月1日(木) ～3月16日(金) |
| 試験日 | 2月8日(木) 2月9日(金) | 3月11日(日) | - | - |
| 科目等 | 2科目 1. 数学①(数Ⅰ+数Ⅱ+数A+数B) 2. 数学②(数Ⅰ+数A) 3. 国語(国語総合(古文、漢文を除く)) 4. 理科(物理Ⅰ+Ⅱ、化学Ⅰ+Ⅱ、生物Ⅰ+Ⅱ) 5. 外国語(英Ⅰ+英Ⅱ+リーディング) | | 3科目 1. 外国語(英、独、仏、中、韓) 英語のみリスニングテストを含む 2. 地理歴史(世A、世B、日A、日B、地理A、地理B) 3. 数学①(数Ⅰ、数Ⅰ・数A) 4. 数学②(数Ⅱ、数Ⅱ・数B、工、情報) 5. 国語(国語) 6. 理科①(理科総合B、生Ⅰ) 7. 理科②(理科総合A、化学Ⅰ) 8. 理科③(物Ⅰ、地学Ⅰ) 9. 公民(現社、倫、政経) | 2科目 |
| 会場 | 長崎、佐世保、那覇、 鹿児島、宮崎、大分、 熊本、佐賀、福岡、松山、 広島、岡山、大阪、 名古屋、東京 | 長崎、鹿児島、福岡、 松山、広島、大阪、 名古屋、東京 | 学部・学科で入試科目や出題範囲が異なります。 詳細は、お問合せいただくか、大学のホームページでご確認ください。 | |
| 受験料 | 28,000円 | | 13,000円 | |
| 合格発表 | 2月19日(月) | 3月23日(金) | 2月19日(月) | 3月23日(金) |

研究室を訪ねて



石井 望先生をたずねて

きょうかけは書道部

高校の時、山水画的虚無縹渺(ひょうびょう)の世界に憧れて書道部に所属。顧問の先生が変わった方で、「漢文を読むのが中心で、書道はオマケだ」「書くのはへたくそで良い」という考えで、毎週一回朝礼前に集まって漢文を読んでいました。東アジア(朝鮮、ベトナム、中国、日本)の共通語だった「漢文」。漢文のもとに東アジア文化圏を思い描き、漢文を学ぶのに便利な中国語を選択した。

静寂な環境に魅了

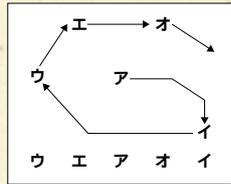
『京都から長崎に来たのが5年前になります。国道34号線の網場道のバス停から大学へ向かって歩き出した私は、騒音もない静寂に包まれ、山あり海が見える環境に魅了されました。世界的に有名な長崎の街からたった20分での理想郷。今でも海の見える講義室で授業ができることに幸福を感じています。』

「本学は日中国交回復前の昭和47年に「中国語」の講義を開講したり、日本ではじめて中国の大学と姉妹校となった大学としての歴史も感じました。」

研究は「音」

先生は蘇州語、元曲など中国の音楽や

方言、漢字音を専門とし、一貫して「漢文圏の音」について探求してきた。崑曲(ユネスコ世界無形文化遺産)のメロディー研究では世界の第一人者。八百年前、モンゴル時代の「元曲」のメロディー復元を世界で最初に成し遂げている。現在、長崎・明清楽(みんしんがく) (県指定無形文化財)などの古楽器の音階測定について工学部電気電子情報学科の中村光彦先生と共同研究を計画しているそうだ。



50音の並び方には秘密があった この仕組みを解明

「アイウエオ」の並びは、アを根本とするインドのサンスクリット語が元だ。しかし日本で最古の資料「孔雀経音義」(平安時代の仏教書)では、順序が「イオアエウ」となっている。「これは謎だったのですが、アを中心として逆渦巻状(右図)になっていると世界に先駆けて解明しました。実は漢字音についての古代思想は全てインドの輪廻模式による渦巻なのです。本学紀要の最新号に発表予定です。」

中国語は外国語ではない

『中国語が上手になりたければ、外国

ホームページを活用ください!!

ネットで進路カウンセリング

入試情報「受験生の皆様へ」のページに新たに『ネットで進路カウンセリング』コーナーがオープンしました。本学の入学希望者だけでなく、進学を考えている全国の方が対象。進学、入試など進路の悩みについて本学のスタッフがお答えしていきます。

URL <http://www.nias.ac.jp/counseling/bbs.cgi/>

ブログ

本学が発信するブログ形式の情報コミュニティサイト『NiAS Blog』をオープンしました。[NiAS Books][NiAS photo colle]やサークルのページなど、今後公開されます。



URL <http://www.nias.ac.jp/blog/>

語と思わないことです。長崎弁や関西弁のように方言と思った方がいいでしょう。でも方言を正確に修得するのは結構難しいし、科学的分析が必要なんですね。中国語も「日本語」も漢文圏内の一方言として対等関係です。文明的には古代中国文明(漢文圏)の一部に日本があると考えられています。もちろん今の中国に日本が含まれるわけではありませんよ。」

中国の耳より情報

『中国と日本の違いはいろいろありますが、最近、国情の違いを感じたのが、中国製DVDプレイヤーには地域(国)の制限がなく、各国のDVDが見られ、また、映画やテレビドラマ、教育系などのDVDが安く入手できるため、中国の方が映画などたくさん視聴できる。著作権上の制限の多い日本では考えられない事で羨ましく感じています。』と中国や台湾で購入してきた電化製品を前に先生から話を伺った。

石井 望

工学部言語教育センター講師

昭和41年東京都生まれ

平成元年京都大学中国文学科卒業後、中国・蘇州大学研究院修士課程へ留学し平成5年同修了。その後京都大学中国文学の修士課程を修了。同博士課程を満期退学(平成12年)。平成13年本学着任までの間、近畿大学など非常勤講師を務める。

編集後記

経済産業省が企業が求める社会人基礎力の調査結果を発表した。その内容は、前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)。自分は果たしてどうかと自問自答する日々。

引退宣言から日本一までの新庄選手のプロ意識。我々大学人としてのプロ意識を反省する毎日。

(I) (T)



このQRコードで
本学携帯電話ホームページにアクセスできます